

## 「安全安心社会の為の Safety Service Engineering」(SSE 研究会)

### 第 8 回研究会・議事録

2010 年 11 月 6+7 日、於：北軽井沢ログハウス

出席者：7 名

幹事： 加部隆史、NPO 安全工学研究所

中間とりまとめ（案）に基づき、内容を深める為に合宿を行った。

出席者は、研究会主査、幹事、H 社、S 社、F 社認証機関 2 名の計 7 名。

最初に、各自の安全ビジョンを発表。

幹事から、世界の動き 2010 についてのプレゼン実施。

その後、ブレインストーミングを経て、中間とりまとめの内容確定或いは、論文骨子を作成予定であったが、とりわけ概念整理については、分野が広い為、さらなる議論が必要の事から、今回まとめの実施は保留にする事とした。

アジアでの FTA/TPP 等の新たな協定の枠組みがこれからグローバル市場に与える営業が大きく、日本のモノづくりの現場が空洞化傾向にあること、少子高齢化によりモノづくりを支える人が減少傾向にある事等から、とりわけ今後日本からどのような safety service engineering が発信できるかが重要な事項となる。

次回は、今月産業・化学機械と安全部門の部門研究発表会が実施され、その次の研究会開催は、2011 年 1 月を予定している。

以上